

平成29年度 中毛地区小学校体育科授業研究会レポート

期 日：平成29年11月22日（水）

会 場：伊勢崎市立豊受小学校

単元名：鬼遊び（ゲーム）

指導者：武井 美佳 教諭

今年度の中毛地区授業研究会では、伊勢崎市立豊受小学校の武井美佳先生が授業提供してくださいました。今回取り上げてくださったのは、1年生の「鬼遊び」。授業づくりにおいては、群馬大学の鬼澤准教授も関わり、楽しいだけでなく、中・高学年での学習へのつながりを十分に意識されたプログラム学習でした。

1年生が1チーム6人で対戦型の「ボール運び鬼」をする中で、作戦を立て、それを達成させようと意欲的にゲームに参加する姿が印象的でした。



1年生の子ども達が元気よく体育館へ来ると、早速「しっぽ取り」で遊び始めます。前時までに学習したことを使って、始業前から子ども達が遊びをはじめ、授業への意欲が高まります。みんな、とても楽しそう！



先生のところに集合し、挨拶をして授業が始まります。「今日もやるぞ！」「楽しみだな〜。」



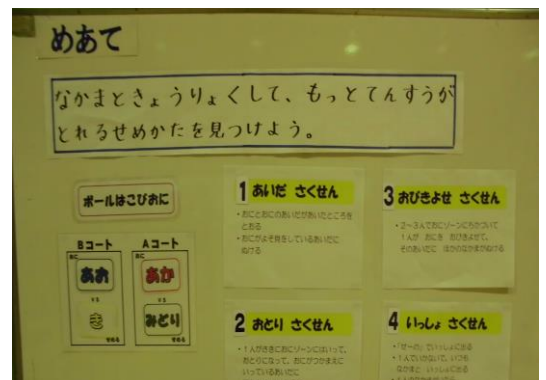
1年生でもチームごとに準備体操が自分たちだけでしっかりできました。ウォーミングアップは「しっぽ取り鬼」で

めあての確認をし、1ゲーム目を行います。その後、全体で集まり、よかったところなど振り返ります。そして、作戦タイムへ。教師は、前時までの子どものよい動きを、4つの攻め方にまとめ、「作戦」として提示します。作戦名も子ども達から出た言葉を使っています。

- ① あいだ さくせん
- ② おとり さくせん
- ③ おびきよせ さくせん
- ④ いっしょ さくせん

2 おとり さくせん

- ・1人がさきにおにゾーンにはいって、おとりになって、おにがつかまえにしているあいだにほかのなかがぬける



どのように動けばいいかを具体的に示しています。これをもとに、チームごとに「作戦タイム」で話し合い、役割を確認します。

作戦タイムで、どの作戦にするか、自分の役割は何かを確認します。

「ぼくが一人残るよ。」

「みんなでバーって一斉に行こうよ。」



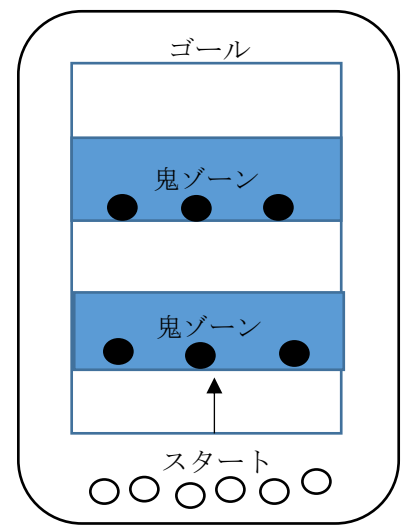
教師が、作戦や個人の役割を把握し、的確に助言をしていました。



作戦ボードを使い、チーム6人の動きを確認しながら、話し合いがきちんとできていました。

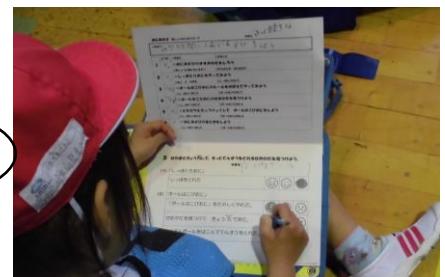


相談したことがいかせるか、いよいよメインのゲームです。左は「おびきよせ作戦」。前の子が相手を見事に引きつけ、後ろの子が走り抜けるスペースをつくっています。



これは「おとり作戦」。1人が鬼ゾーンに入り、おとりになります。鬼が集まってきた反対側に仲間が通り抜けるスペースができました。

最後は、先生がゲームの中でよかった動きを紹介したり、学習カードで自分のことをふり返ったりして次時の活動につなぎました。



この授業では、低学年の「鬼遊び」から、中・高学年のボール運動（ゴール型）に必要な動きについて学習できることがわかります。ボールを受けるための動きや位置どり、味方をガードする動きなど、1年生から経験させることができます。低学年からの学び（体験）の蓄積が、中・高学年での技能の取得に大きく関わるということを改めて感じるとともに、1年生でもここまでできるんだということを見せていただきました。子ども達みんなが、自分たちの選んだ作戦の成功に喜び、満足そうな表情を浮かべていました。授業を提供してくださった武井先生、伊勢崎市立豊受小学校の先生方をはじめ、研究会開催にご尽力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

（文責：伊勢崎市立境小学校 川田喜規）